



血液検査の結果を理解するために・・・



		基準値	
栄養状態の検査			
総蛋白	6.5-8.3		栄養状態の指標です。肝機能障害や腎機能障害などで総蛋白とアルブミンのバランスが崩れます。
アルブミン	3.7-5.2		
肝機能の検査			
総ビリルビン	0.2-1.2		肝機能障害で高値を示します。黄疸の指標となります。
直接ビリルビン	0.1-0.4		
AST (GOT)	10-40		肝細胞の細胞に多く分布する酵素です。細胞が破壊（肝障害）されると血中濃度が上昇します。
ALT (GPT)	5-45		ASTは肝臓の他、心臓・骨格筋・赤血球にも分布します。
γ-GTP	35以下		肝臓に分布し、肝障害・アルコールの常飲では高値を示します。基準値は男女で異なります。
コリンエステラーゼ	201-513		肝障害・栄養失調・農薬中毒などで低値を示します。肝臓の予備能力の指標となります。
血小板	12.0-34.0		止血の働きをします。肝障害の指標ともなります。
尿ウロビリノーゲン	+		肝疾患・胆嚢・胆道系疾患、発熱などの指標となります。
尿ビリルビン			肝・胆嚢・胆道系疾患、膵疾患などの指標となります。
骨格筋の検査			
ALP	101-360		肝臓・胆道疾患で高値を示すほか、胆汁の流れや骨代謝の指標ともなります。
LDH	120-245		肝疾患・心疾患・血管疾患などの異常をみつけます。特に脳や心臓の梗塞状態を反映する重要な項目です。CPKは運動後（筋肉痛）などでも高値を示します
CPK	30-165		
脂質の検査			
総コレステロール	130-219		動脈硬化の防止・促進に関わる重要な要素です。特にLDLコレステロールは悪玉コレステロールとされ、高値の場合は注意が必要です。
LDLコレステロール	70-139		LDL 140mg/dl以上で内服の治療を必要とします。高値は、肥満・動脈硬化などに注意しましょう。
HDLコレステロール	40-90		HDLコレステロールは善玉コレステロールとされ、抗動脈硬化作用があるといわれています。
中性脂肪	40-149		食事の影響を受けやすく、脂肪の代謝状態を反映します。高値の場合は、肥満や脂肪肝、動脈硬化などに注意が必要です。
動脈硬化指数			動脈硬化を起こし易いかを示します。総コレステロールとHDLコレステロールの値より算出します。
※コレステロール値については食事の影響を受けません。また、中性脂肪は食後に一時的に高くなり、約12時間で元に戻ります。食後高脂血症の場合、食後の中性脂肪値が異常に高くなったり時間がたってもなかなか戻らなかったりします。よって、食後2時間の中性脂肪を調べることは重要になってきます。			
腎臓・尿路系の検査			
尿素窒素	8.0-20.0		腎機能を表現する代表的項目です。腎機能の低下が数値を上げる要因ですが蛋白質の大量摂取も数値上昇を伴います。
クレアチニン	0.4-1.1		
尿酸	7.0未満		血液中に増加すると痛風や結石の原因となります。
尿蛋白	-		腎臓疾患や尿路系疾患で著しい陽性を示します。
尿潜血	-		尿中に含まれる赤血球を調べます。腎臓・膀胱・尿路系での出血を反映します。

	基準値	
電解質の検査		
Na K CL		代表的な電解質です。体内のイオン濃度のバランスを調べます
カルシウム	8.4-10.2	Caの吸収、骨疾患を反映します。
リン マグネシウム		生体の必須元素です。腎機能、内分泌の異常により変動します。特に腎機能を反映します。
糖尿病と膵臓の検査		
血糖	70-109	血液中のブドウ糖量です。ブドウ糖の摂取・代謝を反映します。
HbA1c	4.3-5.8	長期（2～3ヶ月前程度）の血糖値と相関するため、当日の食事の影響はありません。高血糖状態が長く続くと高値を示します。治療上の評価になります。
尿糖	-	尿中に排泄される糖を調べます。糖尿病発見の手がかりとなる最も手軽な検査です。
アミラーゼ	42-127	消化酵素として主に膵臓機能を反映します。 ※糖尿病の経過を観る上で、食後2時間血糖値を調べることも重要です。 220mg/dl 以上の場合は注意が必要です。
貧血の検査		
血清鉄	50-160	赤血球の色素を構成する金属です。
不飽和鉄結合能	130-320	鉄を輸送する蛋白が鉄と結合する余力を示します。
赤血球数		細胞に酸素を運ぶ働きをします。
ヘモグロビン	11.3-15.2	赤血球中に含まれ、酸素と結合します。
ヘマトクリット	34.0-46.0	血液中の血球成分量を相対的に表現します。
炎症の検査		
CRP	0.30以下	炎症・感染症などにより出現する特殊な蛋白質です。
白血球数	3.3-9.0	炎症性疾患や壊死（細胞破壊）などで著しく増加します。



★検査データの結果は色々なデータを合わせて診断していくので、単独の項目だけでは診断できません。何か不明な点や疑問がありましたら先生に聞いて下さい。あくまで、この検査データは結果を理解するための参考程度にしましょう。

患者さんが検査結果をよりよく理解する為に・・・

医療法人 早仁会 久喜メディカルクリニック